

平成25年 第2回 議会定例会

一 般 質 問

1. 6番 軍司 俊紀
2. 3番 松尾 榮子
3. 7番 山本 清
4. 2番 野田 泰博

印西地区環境整備事業組合議会

議席6番 軍司 俊紀 議員

【質問1】 次期中間処理施設整備スケジュールについて

板倉管理者が就任し、1年と2ヶ月余りが過ぎたが、次期中間処理施設整備に関して、住民から具体的なスケジュールが見えてこないと苦情が寄せられる。組合では現状をどのように考え、今後のスケジュールについて住民にいつどのような形で提示するのだろうか。

- (1) 9住区への移転についての「白紙撤回」は行なわれているのか。
行なわれたとすれば、それはいつの時点か。
- (2) 現時点で決定、あるいは事務局で内定している「移転に関する基本構想」はどのような内容か。
- (3) 2つの検討委員会のスケジュールの遅れはどの程度のものと認識し、その遅れによる影響は今後の施設整備にどのような影響がでてくるのか。
- (4) 「用地検討委員会」は10月まで開催予定で既に「第7回」会議を予定しているが、議会で承認されたものと考えているのか。
- (5) 組合側で考える「用地検討委員会」に対する「用地選定に対する制限」はあるか。
- (6) 「印西クリーンセンター」の延命化についての検討はいつまでに行なわれるのか。
- (7) 今後のスケジュールについて、住民にいつどのような形で提示するのか。

【質問2】 印西クリーンセンターと余熱利用について

昨年、一般質問で聞いた「(株)千葉ニュータウンセンターに対する熱供給」に関して、環境整備事業組合ではこの1年 具体的にどのような検討を行い、対応をとってきたのかお聞きする。(温水プールの老朽化対策もあわせてお聞きする。)

議席3番 松尾 榮子 議員

【質問1】 次期中間処理施設移転計画の白紙撤回について。

- ①先の印西市議会において、板倉印西市長は、9住区への次期中間処理施設整備計画の白紙撤回に関する質問に答え、「白紙撤回は、私がこれを公約に現在の立場にあることで、両副管理者にもご理解をいただいております、また25年3月、URからの土地購入を断ったことで、事実上白紙撤回となり、文書にはなっていないが、合意されているものと考えている。」と答弁されました。次期中間処理施設の9住区への移転計画は完全に白紙になったのかどうか伺います。
- ②上記の場合、平成20年度から2カ年の日時と相応の費用をかけた検討委員会の位置付けはどういうことになるか伺います。
- ③板倉管理者は、印西市議会において、平成26年6月（用地検討委員会の第2回に再提出された全体スケジュール案では26年7月となっております）、候補地選定の答申がされると答えられていますが、それは確実か伺います。
- ④26年6月（または7月）、予定通り候補地の答申、決定がされたとして、その時点から用地の取得、施設の建設を経て、次期施設が稼働開始になるのは、最短で、また最長で、いつ頃になると見込まれるか伺います。

【質問2】 次期中間処理施設整備の方向性について

8月25日付けの地域情報紙（利根新報）において、印西クリーンセンター次期中間処理施設整備の方向性について、印西地区環境整備事業組合管理者・副管理者へのインタビュー記事が掲載されました。これについて伺います。

- ①板倉管理者は「前計画では十分ではなかった住民の理解、透明性の確保を確実なものとするため、公募住民、学識経験者からなる検討委員会を新たに設置し、用地検討作業を進めている。」と述べられていますが、これまで半年間の検討作業の中で、前回に比べて、住民の理解、透明性はどのように確実に確保されているのか伺います。
- ②伊澤副管理者は「白井市としましては、市民の生活環境の保全と安心・安全な暮らしが継続できるよう、『将来にわたるごみ処理の安定』を目指して、ごみ処理が停滞することのないよう、次期中間処理施設の整備計画を進めていきたい。」と述べられていますが、この「市民」は、どこの市民を指すのか伺います。
- ③岡田副管理者はこの中で、「ゴミ処理センターは現在のところしか無くなってきていると感じています。」と述べられていますが、「現在のところしか無い」と考えられる根拠について、もう少し具体的に伺いたいと思います。

議席7番 山本 清 議員

【質問1】 次期中間処理施設に向けた計画

- (1) 立地はいつ決める予定か。
- (2) 本当に決まるのか。
- (3) 再び印西市にするのは、通時的・共時的に施設の偏在となる。
印西市にはつくらないことを原則にしてはどうか。
- (4) 温水センターを移設すると、現在地付近の住民から反発が出ないか。

【質問2】 現在の焼却炉の対応年数

- (1) 対応期限をどう考えているか。その根拠は何か。
- (2) 対応年数について、どのように調査をしたか。
- (3) メンテナンス費用についてはどのように考えているか。

【質問3】 ごみの原単位

- (1) 印西市、白井市、栄町について、それぞれどんな予測値を使っているか。
- (2) 印西市の予測を使わず、国の予測を使おうとしていたのはなぜか。
- (3) 印西市の予測を使わないと、過大な予測になるのではないか。
- (4) 現在、焼却量は日量何トンか。焼却可能量は日量何トンか。なぜ、過剰設備になってしまったのか。
- (5) 過去の過剰設備の経験を、次期中間処理施設ではどのように生かしていくつもりか。

議席2番 野田 泰博 議員

【質問1】 印西市議会の平成25年第3回定例議会の会派代表質問・市民の山本清議員の質問は次のようでした。「現在地の隣のテニスコートに新しい中間処理施設を建設する計画が一部事務組合の中ですすんでいる、という噂が流れている。市長はテニスコート案についてどのように考えているか。」

この質問に対して印西市長は「現在施設の隣のテニスコートに新しい中間処理施設を建設させない」とのような主旨でお答になっています。

質問① 印西市、白井市、栄町で構成する一部事務組合の管理者として、印西市長の山本印西市議に対する回答は適切なものであったとお考えか否か。

質問② 印西市長から「絶対に現在施設の隣のテニスコートには新しい中間処理施設を作らせてはならない」と公文書で、管理者は受け取っているのか。

質問③ 印西市長の発言内容を、公募による関係市町の住民も参加する管理者の附属機関である2つの委員会（印西地区ごみ処理基本計画検討委員会と次期中間処理施設整備事業用地検討委員会）に印西地区環境整備組合の管理者として報告したのはいつか。

質問④ 印西地区環境整備組合管理者の諮問機関である公募で選ばれた住民で構成する委員会はどこまで印西市長の発言の影響を受けると、印西地区環境整備組合の管理者はお考えか。

【質問2】 印西市議会の平成25年第3回定例議会の会派代表質問・市民の山本清議員の質問はまた次のような質問をされていた。「印西市はすでに長期間、中間処理施設を負擔し、今は終末処理施設も負擔している。新しい中間処理施設は、白井市か栄町に建設するのが筋ではないか。」

質問① 上記の印西市議の質問に、市長はどのように答弁されたのか。印西地区環境整備事業組合には答弁の報告はあったのか。また印西地区環境整備事業管理者として一部組合事業は今後今までと同じ路線上で運営していく所存ですか。

【質問3】 減量化について、印西地区環境整備組合が取り組んでいる姿勢について